

お う め

自治会・支会活動事例集

平成26年度版



編集・発行 青梅市・青梅市自治会連合会




自治会・支会事例集の発行にあたって

青梅市内には、平成26年度現在11の支会、172の自治会があり、それぞれの地域特性にあったさまざまな活動を展開しています。

魅力ある自治会・支会活動を事例集としてまとめ、活発に取り組まれている自治会活動を広く市民の皆さんにお知らせすることとしました。

各自治会の活動内容や、地域の安心・安全のための防災活動などを掲載していますので、自治会活動の参考にご活用ください。

青梅市・青梅市自治会連合会



おうめ 自治会・支会活動事例集 目次

- 「自治会組織再生への試み～一人ひとりが少しずつ・みんなで創る天ヶ瀬町～」
天ヶ瀬町自治会（第1支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 「地元の都立高校との連携活動」
裏宿町1丁目自治会・裏宿町2丁目自治会（第1支会）・・・・・・ 2
- 「防災・防犯・災害に対し隣近所の繋がり強いまちづくり」
大柳町自治会（第1支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 「駒木町ラジオ体操開催」
駒木町連合自治会（第2支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 「親子一緒に凧作りと凧揚げ大会」
下長淵連合自治会（第2支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 「友田町夏まつり」
友田町連合自治会（第2支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 「あいさつ通り」
千ヶ瀬町第二自治会（第2支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 「大盛況！霞台地区自治会連合会盆踊り大会」
霞台地区自治会連合会（第3支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 「地域交流が深まった夏祭り」
野上第三自治会（第3支会）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

「和田町自治会ニュースの発行」	
和田町連合自治会（第4支会）	10
「上郷新聞の発行」	
梅郷6丁目自治会（第4支会）	11
「多摩川遊歩道パトロール」	
第5支会	12
「三田地区防災講習会」	
第5支会	13
「農業講演会」	
第5支会	14
「黒沢川清掃活動」	
第6支会	15
「富岡地区住民参加によるふれあいハイキング」	
富岡1丁目自治会（第6支会）	16
「夜間防災訓練」	
第6支会	17
「自然豊かな住み良いまちづくり」	
第7支会	18
「災害時要援護者マップ作成と防災ボランティア」	
東青梅五丁目自治会（第8支会）	19
「自治会運営から見えてきたこと！」	
多摩団地自治会（第8支会）	20
「安心支え合いネットワーク事業」	
第9支会	21
「新町一丁目だよりの発行」	
新町1丁目自治会（第9支会）	22
「自主防災委員会の活動」	
末広町2丁目自治会（第9支会）	23
「新町7・8・9丁目自治会のサークル活動と地域の連携」	
新町7・8・9丁目自治会（第9支会）	24
「地域の結びつきで築く私たちの街づくり」	
第10支会	25
「市民ウォーキングの開催」	
第11支会	26
「今井城の腰自治会餅つき大会」	
今井城の腰自治会（第11支会）	27

一人ひとりが少しずつ・みんなで創る天ヶ瀬町



第1支会 天ヶ瀬町自治会

自治会組織再生への試み

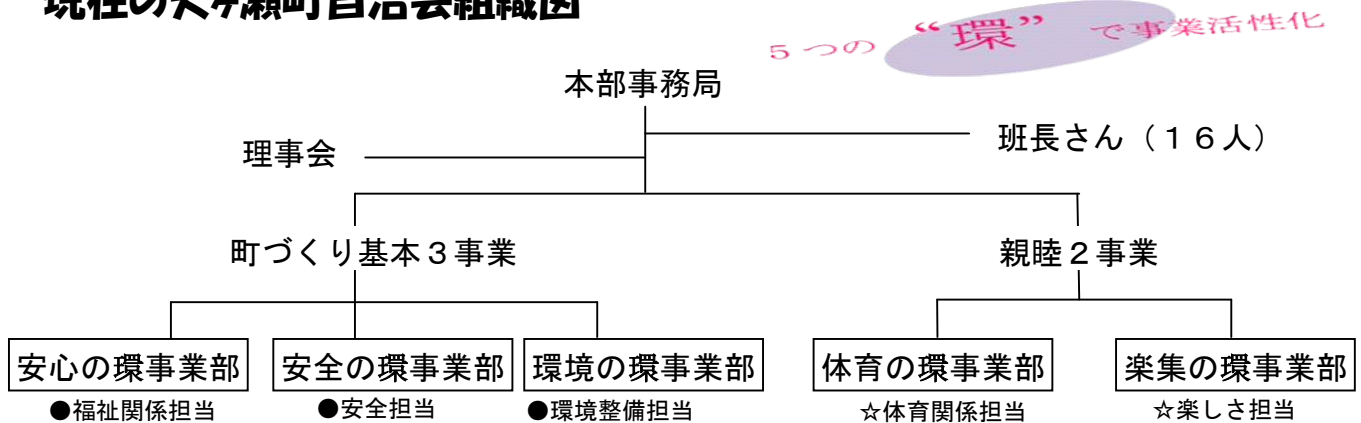


自治会長 野末 信義

天ヶ瀬町自治会は生まれ変わりました。

- 1、平成25年の自治会組織改革により、イベント主体型の活動から地域の安心・安全/環境整備など日常に役立つ自治会活動にシフトしました。
- 2、より地域の日常に密着した活動を行うため五つの事業部を設置することにより、事業の活性化と役員の方業化による負担軽減を図りました。
- 3、従来の組長（評議員）制度を廃止し、回覧などの事務機能を担う班長さんの制度に改めるとともに、募金などの集金業務を自治会一括納入に改めるなどの措置により大幅な負担軽減をしました。
- 4、役員・班長さんの選任方法を、やっていただける人に手を挙げていただくボランティア登録制にし、順番で役が回ってきたり、無理やり役を引き受けていただくことはなくしました。
- 5、全員参加を目指し、「町づくり会員（A会員）」、「町づくり協力会員（B会員）」制度（会費に差あり）の導入。分業化により負担が軽減された正副会長が、個別訪問や説明会開催を行い、「町づくりに力をお貸しください」と呼びかけ、仕事の都合や健康その他の事情で活動に参加できない方に「町づくり協力会員」として、主に安心・安全・環境整備の基本3事業について協力いただき将来的には町づくり会員へ移行していただくことを目指します。

現在の天ヶ瀬町自治会組織図



- ☆本部事務局（本部スタッフ：正副自治会長、会計、事務局2人、相談役2人、会計監事2人計9人）
 - 会員加入促進●事業部統括●広報事務●会計事務●行政、関係団体などの連絡調整
- ☆理事会（本部スタッフ5人+理事10人にて構成）
 - 総会に上程すべき重要事項の協議と立案
- ☆事業部（事業部長兼理事2人、推進スタッフおよび事業部員にて構成）
 - 事業計画の立案および実施



機会あるごとにスタッフを募集

～LOVE LETTER作戦～



天ヶ瀬町自治会改革はINGです

現在、69人の会員が町づくりの推進役として登録されていますが、事業活性化のためには更に多くの推進スタッフが必要です。特に、女性リーダーが不可欠です。このため、現在、推進スタッフの育成を進めていこうと考えています。天ヶ瀬町自治会の改革は、現在進行形です。今後も、「一人ひとりが少しずつみんなで創る天ヶ瀬町」をモットーによりよい街づくりをめざして行きたいと思いを。

第1支会 裏宿町

地元の都立高校との連携活動

- ◇ 裏宿町1丁目自治会
- ◇ 裏宿町2丁目自治会

都立多摩高と作る地域防災

私たちの地域には、創立92年目を数える都立多摩高校がございます。今年度より、校長・副校長が代わられて、校長の「青梅で地元貢献できる人を育てたい。この地域は生徒の面倒を見てくれる地域だと確信している。」というお考えもあり、都立多摩高校と裏宿町自治会も新しい関係を築こうとしております。

平成26年4月25日（金）から4月26日（土）にかけて行われた都立多摩高校の宿泊防災訓練では、校長先生からご連絡をいただき、青梅消防署による防災講話へ自治会も参加しました。

自治会会員の皆様にお声を掛けさせていただきましたところ、当日の青梅消防署による防災講話には60余名の方々のご参加をいただきました。

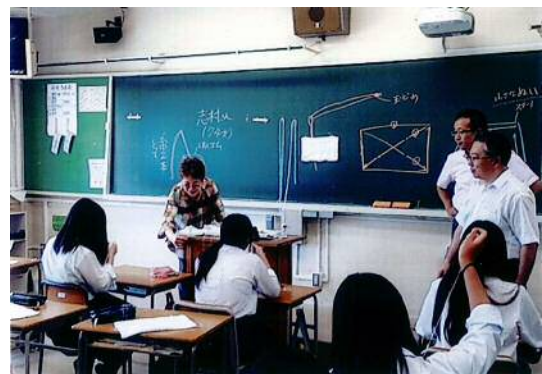
副校長先生のお話では、都立高校の防災訓練でもこれだけの地域の方々に参加するというのはあまり聞いたことがないということでした。

当日は、午後4時頃に自治会の方々が訪問し、一階の教室に集合して副校長の話のあとに、青梅消防署の防災講話に参加しました。その後に副校長の案内で校内施設を見学し、午後5時過

ぎには都立多摩高校の防災倉庫に備蓄されているアルファ米の試食会に参加しました。アルファ米は熱湯を注ぐだけでできる御飯ですが、ワカメが入っていたりとおいしくできるので驚いたところです。今後は防災倉庫の見学も是非計画したいところです。

「奉仕の時間」への協力

最近の都立高校には、「奉仕」という時間があります。都立多摩高校では、2年生が「奉仕」の時間に雑巾を縫って寄付をするという計画を実施しました。この時にも副校長から雑巾縫いの運針の指導をお願いできないかというお話を受けて、自治会から7名の方々に出いただきました。高校生は孫みたいな年齢ですが、熱心に雑巾を縫っていましたが、目が粗いなあと思った次第です。機会があればまたお手伝いしたいところです。なお、8月22日（金）の贈呈の様子を8月29日（金）発行の西多摩新聞に載せていただきました。



◇ 婦人メンバーが講師 ◇

第1支会 大柳町自治会

自治会長 太田藤一 世帯数260世帯 役員17名(女性2名) 組長25名

大柳町は東日本大震災を機に取り組みが変わりました。
防災・防犯・災害に対し隣近所の繋がりの強いまちづくりに取り組んでいます。

大柳町防災マップ(H24.9)



災害発生時あわてずに行動できるように、町内避難場所や消火器設置場所等を示したマップを作成した。
全世帯(520世帯)に配布し更に町内15ヶ所に掲示しています。

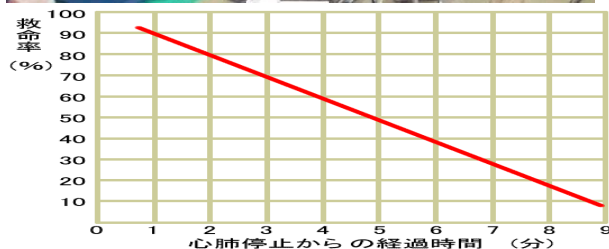
4団体3世代交流会(H24.10)



自治会加入促進を目的として、町内全世帯を対象に世代間交流会を実施する事で顔見知りになる機会を増やしています。

ファミリーゴルフ、輪投げ、抽選会等約100人参加

救急救命技能講習会風景(H25.10)



自治会会員の36%(94人)が参加し、命を思いやる気持ちを忘れずに各団体が協力して活動しています。

現状の町内AED設置状況では2台しかなく10分以内に往復するのは難しく東西南北に各1台設置する事を目標に取り組みに力を入れています。
(目標は往復4分~8分以内)

役員会、組長打合せ H26.8.23



①風水害・土砂災害対応
気象情報(青梅市注意報発令)
時間雨量70mm予測の時は

自治会正副会長は会館待機

↓
大柳町会館を避難場所として開放する

②買い物弱者対応として

大柳町の買い物弱者に対する取り組みとして、近くのスーパーと提携して大柳町⇄スーパーのシャトルバスの巡行に取り組んでいます。

駒木町ラジオ体操開催

駒木町連合自治会長 高橋 正

世帯数 610世帯

毎年恒例の駒木町ラジオ体操が今年も盛大に開催されました。

平成26年8月10日～8月17日AM6:20～ 会場 駒木町運動広場

「地元のラジオ体操に参加して清々しい朝を迎えませんか」をキャッチフレーズに

主催は、駒木町連合自治会、参加団体は駒木町の二小、二中PTA、青少対、長寿会、体育部そして地域の方々と幅広くご参加を頂きました。

開催に先立ち、第2支会で開催されるラジオ体操講習会に、地元のジュニアリーダーと体育部が参加し、ラジオ体操のいろはを学びました。

また、今年はより多く地域の方々にラジオ体操が開催されている事を知って頂く事、参加頂く事を目的に、

「東京都地域の底力再生事業助成」に申請を行い、ラジオ体操開催の看板やT-シャツ、ポスターなどを作成し実施しました。

その成果として、毎日90名～120名の方々にご参加頂き、取材に来られた西の風新聞の記者さんも大変驚かされていました。

参加頂いた方達には参加賞、子供達にはおかしや文房具なども配布し、皆さんの笑顔がとても印象に残っています。

ラジオ体操は体を動かす事だけでなく、地域の皆様のコミュニケーションの場にもなります。来年度以降も、各団体が一体となって駒木町ラジオ体操を盛り上げて行ければと思います。

駒木町体育部 安達優也



『ラジオ体操の様子』



『ラジオ体操講習会の様子』



『自治会館前看板』

親子一緒に凧作りと凧揚げ大会

～伝統的な遊びの体験を通して、地域の連携協力を図る～

下長淵第四自治会長・連合自治会長 宇津木順一

長淵1丁目から4丁目までの下長淵地区には、各丁目を中心に第1自治会から第4自治会まであります。この4つの自治会がまとまって下長淵連合自治会を構成し、下長淵地区として多くの活動を協力して行っています。

地区内の多摩川河川敷には長淵市民プール（現在休止中）があり、堤防下に河原が広がっています。この環境を生かし、伝統の遊びを通して親子のふれあいを深め、地域の連携協力を図るため、1月に自治会と各種団体が協力して、親子一緒に凧作りと凧揚げ大会を行っています。（平成26年は1月26日（日）に実施）

親子一緒に凧作り

大会は、午前中の自治会館での凧作りから始まりました。竹ひごやたこ糸、和紙などの材料を基に、自分たちの手で凧を作ります。まず和紙に子供達がそれぞれ思い思いに絵を描きました。次に和紙に竹ひごを結び骨格を作ります。最後に凧糸を張り仕上げました。



ピザと豚汁の昼食で楽しい会話

凧作りの後、完成した凧を持って長淵市民プール前広場に移動し、昼食です。広場では、

青少対、二小・二中PTA、消防団、安協などが朝からピザや豚汁を作って待ち受けていました。親子そろっての昼食で、大いに会話が盛り上がりました。



広い河原での凧揚げ大会

昼食後は、いよいよ大会本番の凧揚げです。今年は、あいにくの強風となりました。やむを得ず時間を早めて凧揚げ大会を終了しました。



地域の連携協力

昨年が続いての2回目の凧揚げ大会でしたが、小学生を中心に昨年を超える大勢の親子が参加しました。

また、今年は、「凧揚げ大会を通じて親子の伝統文化の体験と自治会等への加入促進」ということで、都の「地域の底力再生事業助成金」を請けて実施することができました。

友田町連合自治会の取り組み

「友田町夏まつり」

友田町連合自治会会長

友田町第2自治会長 栗原 秀二

友田町は、丁目別では1～5丁目まであり、自治会としては第1～第7自治会と丁目をもたいた形での自治会構成となっております。友田町全体としての自治会活動は、7自治会が連合した友田町連合自治会と称し活動しておりますが、個々の活動は単位自治会ごとに行っています。

自治会加入率は平成26年4月現在で52.3%となっており、他地区よりは加入率は若干高いかと思えます。

友田町の行事は毎月のようにありますが、中でも夏の風物詩でもあります「盆踊り」についての取り組みを紹介します。

本年は、従来の「友田町盆踊り大会」から、盆踊りを主として皆が楽しめる

「友田町夏まつり」と名称を変更して平成26年7月20日に開催しました。

変更に伴い、各種団体に持ち時間を与えその時間内に盆踊りを踊るか、別の出しものを行うよう依頼しました。また、盆踊りの練習にも参加するよう呼びかけたところ、

昨年が増した人数で、中学校PTAでは中学生男女がダンスを披露するための特訓をするなど、練習を通して各種団体の意気込みを感じたところです。

開催当日は、午後4時頃からスピーカーからの曲に誘われるごとく地域の方々が集まりはじめ、模擬店も忙しくなり、午後5時に友田町郷土芸能保存会の「迎え囃子」で幕開けとなりました。

その後は、各種団体がやぐらに上がりそれぞれの踊りを披露し、なかでも中学生の男女のダンスが始まるとやぐらがステージに早変わりして、輪になっていた子供から大人までがやぐらに釘付け状態になるほど見惚れていました。また、友田小学校の正副校長先生方と小学生がやぐらで踊るなどし、午後9時に名残を惜しみながら夏のひと夜が閉宴となりました。

住民同士の親睦と自治会への加入に少しでも貢献できる行事になればと思い「友田町夏まつり」とし、踊りの輪には入らなくても浴衣を着て気軽に参加できる場としたことで、例年のない賑わいをみせ、盛大に終了することができました。

各地域で自治会離れが顕著に見受けられますが、このような催し物により地域の親睦、繋がりが図られ自治会離れが少しでも減退することを願い今後も開催していく予定です。



千ヶ瀬町第二自治会事業

～ あいさつ通り～

私たちの住む千ヶ瀬町も都市化が進み、人間関係が希薄になり、道ですれ違っても大人も子どもも黙って通り過ぎ事があります。

「親睦・連帯・助け合い」を合言葉に累代続けてきました千ヶ瀬町第二自治会の活動ですが、6年前、当時の自治会長が、こんな現状を何とか打開し、温かな町を取り戻したいと、「あいさつ」運動を始めました。今期まで引き継がれ、6年間継続して進めてきております。

- いつでも・・・どこでも・・・だれにでも・・・「笑顔のあいさつ・・・明るく元気よく」・・・
おはよう・・・こんにちは・・・こんばんは・・・ありがとう
- 広げよう・・・家庭から～お隣さん～隣組さん～自治会へ・・・
- 「親睦・連帯・助け合い」「安心・・・安全のまち」千ヶ瀬町第二自治会

総会で、役員会で、様々な行事の中で、「あいさつ」の推進が強調されるとともに、掲示板の余白にも上記の標語が掲示されました。

★今回報告させていただくのは、この平成26年4月から始まったあいさつ運動の新しい取り組みです。

この4月、青地に黄色で「あいさつ通り」と大きく書いた幟をつくり、町内の要所5か所に掲示しましたところ、思いのほか好評で、皆様にいいインパクトを与えています。

また、町内に3か所設置されている掲示板の標語もより大きく、見やすくしました。



★この結果、通りが何となく明るくなりました。

ラジオ体操の折にも子ども達にも、協力を呼びかけ、町の雰囲気が変わりつつあります。自治会活動でも、ささやかではありますが、前向きに風の変化を感じられるようになったと思います。

小さな取り組みですが、さらに輪を進めて自治会活動の活性化につなげてゆきたいと思います。

霞台地区自治会連合ニュース

2014(平成26)年8月15日発行

発行責任 霞台地区自治会連合

盆踊り大会、好天にも恵まれ、千数百人の参加で大成功！！

～皆様のご協力に、心から感謝申し上げます～

先日の7月26日(土)、恒例の霞台地区自治会連合主催の盆踊り大会が、大門第二広場で開かれました。

昨年は、夜の7時頃から豪雨が襲い、途中での中止に追い込まれましたが、今回は、朝から猛暑で、夕立も来ずに夕方5時から9時までフルタイムで、盆踊り大会を成功させることができました。

当日は、朝8時に、炎天下の中、男性実行委員の皆さんが8つの自治会から数十名集まり、やぐらを建てたり、テントを張ったりして、会場設営を行いました。

夕方5時から、予定通り子ども会の踊りからはじまり、トップバッターは野上第2自治会で、元気よく踊りました。子ども会のあと、嘉志和会の方々が円熟した踊りを披露しました。

6時頃から開会式となり、増子連合会長、清水顧問等がやぐらの上から挨拶をしました。井上環境副大臣をはじめ、来賓の方々もたくさんお見えになりました。

実行委員の方にはもちろん、親和会、安協、消防団の方々にも本当にお世話になりました。あらためて御礼を申し上げます。また、今年は、一昨年に引き続きまして、東京都の底力再生事業助成金をいただくことができました。



正門です！！



自治会長の踊り(応援団も参加)



浴衣姿もあでやかに



大門5自治会のテント風景

野上第三自治会ニュース

2014(平成26)年8月30日発行

発行責任 野上第三自治会情宣部

夏祭り、好天にも恵まれ、たくさんの方の参加で大成功！！

～皆様のご協力に、心から感謝申し上げます～

8月23日(土)、第9回目の野上第三自治会主催の夏祭り大会が、自治会会館の庭で開かれました。当日は、午後1時頃から、ブロック長・組長・役員さん等が40人余集まり、夕方からの夏祭りを準備しました。会館内では、女衆を中心に野菜を切ったりして焼きそば、たこ焼きの準備をし、外では男衆を中心に、テントの組み立て、提灯の飾りつけ等の準備をしました。

準備万端、5時から増子自治会長の挨拶で夏祭りがはじまりました。夕方から雨がふるのではないかと心配されましたが、一滴の雨もなく、次第に地域の方がたくさん集まり、楽しく交流を深めました。

実行委員の方には、本当にお世話になりました。また、お忙しいところ、たくさんの方がおいでいただきまして、ありがとうございました。あらためて御礼を申し上げます。



子ども会の盆踊りです！！



大人の盆踊りです！！



子ども会の「金魚すくい」です！！



親子仲良くです！！

和田町自治会ニュースの発行

連合自治会長 並木 誠

世帯数 305世帯

和田町連合自治会では、活動内容を地域住民に情報提供することを目的として「和田町自治会ニュース」の発行を行っております。

「和田町自治会ニュース」は、平成18年8月に第1号を発行して以来、9年間にわたり毎月発行を目指し、自治会員の皆様に配布しております。

【主な掲載内容】

- 定期総会、理事会、各種団体会議 等の各種会議報告
- お祭り、納涼祭、運動会、文化祭 等の各種イベント
- インディアカ、ソフトボール、卓球 等のスポーツ大会
- 美化デー、花壇の植替え、多摩川一万人清掃大会 等の環境美化活動
- 各種団体（清和会、消防団、体育部、こども会、他）の活動報告
- 子ども会、中学校PTA、自治会による資源回収
- 地域住民からの要望事項の経過状況の報告
- 今後の自治会行事予定

「和田町自治会ニュース」は、自治会連合会のホームページにも掲載されています。過去、1年分の「和田町自治会ニュース」がご覧いただけます。

<http://www.ome-rengou.jp>（自治会連合会HP）→地域活動→自治会だより）

平成26年8月号では、「和田町納涼祭」を特集しました。



「徳昌寺の狸囃子」を演じる囃子保存会の皆さん



清和会ユーモアクラブの皆さんの安来節

（記事の一部を抜粋）

○納涼祭成功裏に執り行われる

7月26日（土）好天に恵まれた恒例の「和田町納涼祭」が開催されました。当日は連日の暑さの中、朝8時から関係団体の皆様や自治会役員等により準備が行われました・・・。

以下は当日のプログラム内容です。

- ・囃子保存会の子供囃子
- ・子ども会 男子 女子 歌とダンス
- ・清和会 カラオケ 踊り
- ・清和会 ユーモアクラブ 安来節
- ・囃子保存会 徳昌寺の狸囃子
- ・特別出演 上郷舞踊同好会
- ・安協和田班 カラオケ
- ・消防団 カラオケ
- ・前自治会長、囃子保存会他全員でカラオケ「祭り」を熱唱して終了。

*皆様のご協力で納涼祭が盛大に終了できたことを感謝いたします。



青梅市自治会連合会第4支会

梅郷6丁目 自治会

自治会長 山下 秀明

世帯数294世帯

当自治会発行の広報「上郷新聞」は、平成7年の2月に「KAMIGO」創刊号が生まれやがて月日が流れ、現在87号がすでに発行されました。

創刊号当時は、B4裏表で紙質も悪くワープロやガリ版での紙面制作でしたが、平成14年から編集者が変わり、題字や紙面構成も変えA4で2面から4面に、平成24年9月の74号からモノクロからカラー化に変え、A3で4面に一新しました。

お蔭様で広報「上郷新聞」は、年5回発行され今年で21年を重ねることができ、2月に87号が発行されました。

梅郷6丁目自治会員宅に各戸配布しております。

広報「上郷新聞」は、青梅市自治会連合会のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ome-rengou.jp>

自治会連合会HP→地域活動→自治会たより



平成7年に発行された創刊号



上郷新聞の題字(上)、最新87号の上郷新聞(下)

広報「上郷新聞」発行するにあたっての制作意識と主旨

地域のことや、自治会の行事、動きなど自分たちの身近な問題をタイミングよく知らせることができ、それにより、住民の地域意識を目覚めさせ、住民相互や自治会との連帯感をつくり出す大切な役割をもっています。

広報「上郷新聞」の基本姿勢

- | | | |
|------|----|--|
| 発行部数 | …… | 各戸配布とする。 |
| 発行日 | …… | 年5回で2回は特集号とし(運動会・文化祭)とする。 |
| 編集方針 | …… | 不偏不党とする。 |
| 編集委員 | …… | 取材、原稿収集、原稿依頼、レイアウト、原稿書きなど一人でやらずに分業とする。 |

何を載せるのか

- (1) 自治会や地域への関心を高める
(年間事業計画、子供会、老人会等の活動紹介)
- (2) 事業のPR (自治会の活動をPRすることで、理解と参加を呼びかけることが必要)
- (3) 読みたい記事 (新聞、雑誌、他の広報誌の転載)
- (4) 住民の参加(自由投稿、俳句、短歌、川柳など)

第5支会

多摩川遊歩道パトロール

「三田地区を見守る会」、「青少対三田地区委員会」では、毎年川の事故防止や、ゴミ捨て防止等の予防活動として、青梅消防署及び、地元駐在所に御協力を頂き、多摩川遊歩道パトロールを実施しています。平成26年度は7月26日（土）、猛暑の中実施しました。また、今回は、5月に御岳で山火事が2件発生した事もあり、消防署から山火事防止のパンフレットを頂き、ハイカー等に配布し広報活動も行いました。

【パトロールコース】

沢井市民センター ～ 沢井2丁目遊歩道入口
～ 楓橋～ 鵜瀬橋～ 御岳小橋 （約2.5km）

【参加者】 合計49人

- ・ 自治会長 14人
- ・ 青少対 22人（内小学生8人）
- ・ 地元駐在所 3人
- ・ 青梅消防署 8人
- ・ 事務局 2人

【パトロールを終わって】

暑い日でしたが、時折多摩川の涼しい風を受け、小学生は中間点の鵜瀬橋まで頑張りました。暑い体にアイスキャンデーが美味しかったと思います。

最近、水遊びをしている人は少なくなっていますが、それでも御岳小橋周辺では、バーベキューやボルダリング、散策等をしているグループが複数来ており、ゴミの持ち帰りや事故防止を呼びかけました。

先日も水難救助があったばかりです。

今夏事故の無い事を祈り、パトロールを終了しました。



青少対委員、6小児童たち



パトロール風景



消防署、駐在所、自治会長

第5支会 三田地区防災講習会

「いのちを守る自主防災」

三田地区は、多くの住宅が急傾斜地に囲まれており、土砂災害には多数の方が高い関心を持っています。

このような状況を受け、地元沢井2丁目にお住いの気象予報士：青木孝さんに「いのちを守る自主防災」というテーマで防災講習会を実施して頂きました。

日時：平成26年6月27日（金） 19:00～20:30
会場：沢井市民センター 多目的室
参加者：44名



【講師：青木 孝さんのプロフィール】

気象予報士

専門は、防災気象や台風の進路予想、長期予報、地球温暖化予測等。

長年気象庁に勤務し、札幌管区気象台 技術部長、気象予報部 予防課長、気象研究所、成田空港、舞鶴海洋気象台長などを経て、現在は株式会社ウェザーニューズ社に属して若手気象予報士の指導等に当たっています。

【講演内容】

- (1) いのちを救う隣近所の助け合い（連絡体制や安否確認方法の紹介）
- (2) 自分のいのちを守るのは自分（過去の事例では、自立避難が最多で40%以上）
- (3) 台風による豪雨（中心付近や山沿いで豪雨、長時間型大雨台風の特徴等）
- (4) 山麓と平野の豪雨（場所を選ばず突然のゲリラ豪雨、積乱雲の集団による短時間型大雨）
- (5) 避難場所（防災情報は広範囲を対象に出ている。自分の防災は行政任せにしない）
- (6) 最近の災害傾向（犠牲者の減少は下げ止まり状態。昔はもっと強い台風が上陸していた）
- (7) いつもと違うと感じたら避難（普通の大雨の時に崖や沢を見ておく。見回りは2人で）
- (8) 前兆現象（急な斜面の土砂崩れ、沢の土石流）

【講習を終えて】

地元の地形や気象に詳しく、また過去のデータや災害事例を引用し、非常に判り易い内容でした。土砂災害は防ぐ事は難しいですが、人的被害は私達の行動次第で防ぐ事も出来ますので今後、知恵を出し合い、防災対策を考えて行きたいと思います。有意義な講習会でした。

第5支会 農業講演会

「秋野菜の栽培方法と土壌及び施肥管理」

三田地区では、多くの方が家庭菜園を楽しんでいます、中々思う様に出来ない等の声を聞いています。副支会長である福島正文さんは、農業委員も務める野菜作りの名人であり、秋野菜の栽培方法等について講師をお願いし、講演会を開催しました。

野菜づくりのノウハウ取得も目的のひとつですが、参加者の菜園コミュニケーションの活発化や、秋に開催される文化祭への野菜出品数の増加も狙い、地域活性化の一助となる事を願って実施しました。

日 時 : 平成26年8月14日(木) 19:00~21:00
会 場 : 沢井市民センター 第1会議室
参加者 : 34名



【講師：福島正文さんのプロフィール】

長年、国の機関で農業の肥料を検査する仕事に従事。退職後は、肥料会社にて肥料のコンサルタントを行っています。

また、青梅市農業委員会委員を9年間務め、今年度から会長という大役を務めています。

自身も野菜を中心に栽培を行っており、直売所に出荷しています。

【講演内容】

1. 栽培のための土壌要因 (主要作物好適pH領域と管理方法等)
2. 肥料成分と作物の吸収 (作物の種類と窒素の吸収、野菜の窒素施用と品質等)
3. 肥料の三要素および五要素 (窒素、リン酸、カリウム、カルシウム(石灰)、マグネシウム(苦土))
4. 肥料の種類と特徴 (製法・性状による分類、無機肥料と有機肥料、複合肥料、たい肥等)
5. 秋野菜と栽培管理方法 (大根、白菜、ブロッコリー、ほうれん草、キャベツ)

【講演を終えて】

はじめての試みでしたが、限られた時間の中で、質疑応答も活発に行われ、予想以上に好評でした。日頃、自己流で栽培している方も多く、大変参考になったようです。

アンケート結果では、若干難しかったとの意見もありましたが、8割の方が、次回に春野菜や夏野菜について講演をして欲しいとの事でした。

黒沢川清掃活動

第6支会 支会長 宮 寺 利 充

自治会第6支会と青少年対策小曾木地区委員会との共催で、黒沢川の清掃を実施しました。

この清掃活動は、昭和58年度から始まり今回で33回となる行事で、平成26年度は、8月3日(日)に「みんなの、みんなによる、みんなのための黒沢川清掃」をテーマに小曾木地区全域で実施しました。

また、この行事は、小・中学生が活動することにより、青少年が地域の一員として自覚と自立を育成することを目的の一つとしています。

【清掃区域】

- ・ 黒沢川および支流の小布市川周辺の清掃を行いました。

【参加者】

- ・ 自治会員 824人(招待者、役員含む)
- ・ 青少対 159人(うち小学生107人)
- 計 983人



開 会 式

【清掃を終わって】

- ・ 不法投棄物が多い(金属・軍手・ビニール・タバコの吸い殻等)。年々大人と子供の連携がうまくいくようになった。子どもの「川を汚してはいけない。」という意識が高まった。



黒沢川清掃風景



子どもによる開会のことば

富岡地区住民参加による「ふれあいハイキング」

富岡自治協議会

富岡1丁目自治会長 石井博章

秋晴れの休日に、大人と子供と一緒に1日楽しもうというのが「ふれあいハイキング」です。富岡1丁目、富岡2丁目そして富岡3丁目の自治会からなる富岡自治協議会の住民ならだれでも参加できます。まず、富岡3丁目にあるグラウンドに時間を決めて集合し、3、4 kmほど離れた山頂にある見晴らしの良い公園までハイキングをします。

目的地である公園は毎年自治会3役や体育委員などの役員で意見交換して決め、その公園までの距離を勘案して出発時間を決定します。昼食を公園でとるためです。



昼食後の自由時間に子供たちは公園にある遊具で遊び、大人たちは楽しい談笑のひと時を過ごします。そのあとは、輪投げゲームで得点を争い、ついで本日最大のイベント「ビンゴゲーム」に突入します。豪華賞品は参加者全員に当たるよう準備します。

ゲーム終了後はそれぞれ思い思いのルートで出発地である富岡3丁目のグラウンドを目指します。しかし途中帰宅しても良いことになっています。グラウンドに集まった人たちで解散式を行います。皆さん「今日はよく歩いたね」という満足感でいっぱいです。

飲み物や昼食を手配するために、事前に参加人数を明確にする必要がありますが、これは隣組長さんに手伝ってもらいます。昼食は何にするか、ゲームの賞品はどうするか、など役員が集まって智慧をだし合います。当日、体育委員は参加者、特に高齢者や子供たちの安全確保につとめます。リクレーション保険を掛けたり、体調をくずす人のために車を用意したり、と細かいことが数多くありますが、参加者全員の協力が得られるので安心できます。人とのふれあい、自然とのふれあいは元気の素になると同時に、青少年の健全育成の一助となるでしょう。この活動の経費は青少年対策小曾木地区委員会からの助成金で賄いますので、参加者の負担はありません。平成25年度は埼玉県飯能市の龍崖山公園に行きました。大変きれいで、広々とした公園です（写真は龍崖山公園からの眺め）。参加者はこども13名、大人43名でした。次もそこにしようという声も上がっています。少子高齢化で年々参加者が少なくなっていくのではと懸念されますが、お互いに声をかけあって盛り上げていきたいと考えています。

夜間防災訓練

～ 平成26年8月31日(日)午後7時 ～

第6支会 支会長 宮寺利充

第6支会では、最近の災害の発生状況などから、夜間の地震発生を想定した防災訓練を行いました。

午後6時50分に青梅市の防災行政無線で地域住民に訓練の周知を行い、7時に地震発生の合図として、市民センターおよび消防自動車5台のサイレンを一斉に吹鳴して訓練を開始しました。

市民センターには、第6支会の正副支会長、消防団正副分団長、まとい会支部長、交通安全協会支部長、民生委員の代表者および市民センター職員が参集して自主防災組織連絡会の本部を設置しました。

各家庭では、家族の安否や火の元の確認を行い、懐中電灯や非常持出品を持って指定の避難場所へ避難を行い所要時間等の確認をしていただきました。

各避難場所では、避難してきた住民に対して地元消防団員が防災の基本は「自分の身は自分で守る」ことや「住宅の耐震性・家具の転倒防止」、「家庭内備蓄」など、普段からの備えが大切であることや、土砂災害に備えて、自分の住んでいる場所の地形についてハザードマップで確認していただきたい旨の説明が行われました。

また、避難訓練に合わせて、市民センターの本部と避難場所との間で、無線を活用して避難人員や被害状況などの情報を伝達する訓練を実施しました。

※ 訓練参加者等



地区	対象自治会等	避難場所等	参加者
本部	本部員	小曾木市民センター	11人
第1	富岡1・2・3丁目	富岡3丁目運動広場	95
第2	小曾木3・4丁目	市民センターグラウンド	203
第3	黒沢1・2・3丁目	黒沢中央運動広場	167
第4	小曾木1・2・5丁目	小曾木2丁目運動広場	93
合計			569

なお、第6支会では平成27年3月1日(日)に第七小学校と地域住民との合同で避難所開設・運営訓練などを中心とした小曾木地区防災訓練を実施しました。

教訓

- ・ 夜間の停電・大雨の際の避難行動は非常に難しい。
- ・ 普段から非常持出品の準備をしておくことが大切である。

《豊かな生活を求めて》

自然豊かな住み良いまちづくり

第7支会 支会長 井上忠男 595 世帯

第7支会は、成木1丁目から8丁目の自治会で組織し、自然豊かな住み良いまちづくりを目指して、日頃から様々な社会活動を行っています。

また、各自治会でも盆踊り・各種レクリエーションをはじめ独自の地域交流活動を行っています。

今回は、第7支会でやっている活動のうち、いくつかをご紹介します。

東京ヒルクライム NARIKI ステージ



成木地区は、山や川などの自然が非常に豊かです。

その豊かな自然環境を利用して、平成19年から青梅市成木7丁目にある常盤林道を使った「東京ヒルクライム NARIKI ステージ（自転車競技）」を誘致して、青梅市北部の成木地区の活性化につなげてく活動をしています。各自治会を中心とした「ヒルクライム実行委員会」を組織し、運営にあたっています。

芸術の秋！成木地区文化祭

文化祭の運営は第7支会の下部組織である「文化祭実行委員会」が中心となって行われています。

文化祭は楽しさが感じられる地域交流行事であり、参加する方にとっては文化祭の成功という目的のために、仲間とコミュニケーションをはかることもでき、達成感の強い行事で、同時に文化祭には、成木地区の地域社会相互の結びつきを深め、人々の豊かな生活に貢献するという意味合いもあります。



地域の結びつきの大切さ

高齢化社会を迎え、さらに震災や異常気象による災害を見ても、隣近所の助け合いが非常に重要になってきています。地域に根ざした活動として、まずは仲間作り、そして地域の結びつきを緊密にすることが、自然豊かな住み良いまちづくりにつながっていくと考えています。

安心・支え合いのネットワーク

－災害時要援護者マップ作成と防災ボランティア－

自治会長 内野喜生 世帯数 400 世帯

【地域で生きる】という意識

東青梅五丁目自治会では、大規模災害発生時には地域が主体となって初動対応をしなければならないという課題認識のもと、平成21年「東五防災ボランティア」を組織化しました。防災をキーワードに地域住民同士の交流を促進し、「地域で生きる」という意識を強く持って地域力の向上を目指しています。現在ボランティアには、中学生・高校生を含む約200名が登録しています。



【防災ボランティア訓練】の実施

防災ボランティア訓練では、災害時要援護者マップをもとに、防災ボランティアが要援護者を自宅まで訪問し、安否確認、避難誘導等を行います。その後避難場所にて、炊き出し訓練で作った食事を一緒に食べ、懇親を深めます。

その他にも、消防署・地元消防団の協力で、消火訓練、子ども会会員が地域内に設置された消化器等の位置を確認する「防災スタンプラリー」など、多様なメニューがあり、毎年200名以上が参加する大規模な訓練となっています。



【災害時要援護者マップ】の作成

自治会では、地域内の65歳以上の会員を網羅したマップを作成しています。マップには、世帯の状況を色分けして示し、迅速に安否確認、避難誘導ができるよう工夫をし、毎年、防災ボランティア訓練を実施しています。



東青梅五丁目自治会の想い ～自治会加入率向上を目指して～

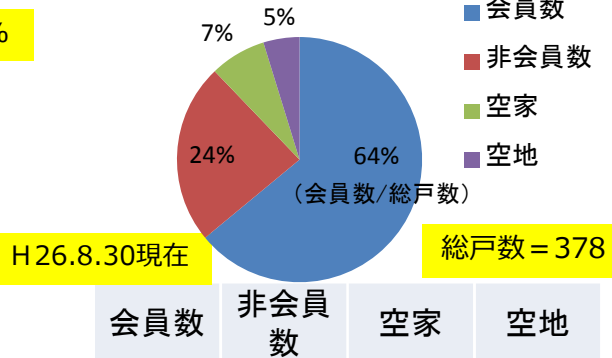
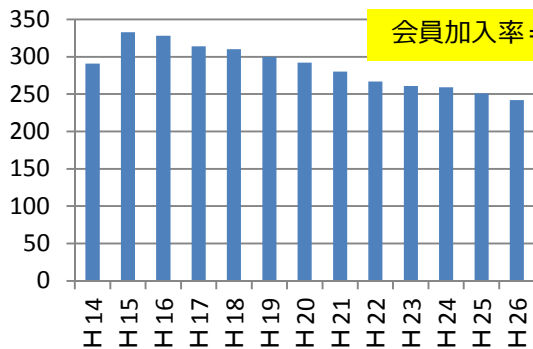
各種イベントやスポーツ行事を通して、子どもからお年寄りまで、みんなが楽しく笑顔あふれるそんな地域にしたいと、世代間の交流を常に意識し活動しています。「防災」をキーワードに自治会員を増やし、地域に「安心」と「支え合い」が広がることを願っています。

自治会運営から見えてきたこと！

多摩団地自治会

自治会長 田中 晴雄 会員世帯数

251(H26.4.1)



会員数の過疎化が止まらない！・・・せめて、退会防止策として！

当自治会は、少子高齢化が更に加速！二人暮らしから一人暮らしが急増！転居に伴う空家の増加！
対策 = 非会員の再加入へのアプローチ・空き家等再入居者へのアプローチ・究極は両団地の合併！

防止策1) 町内の防災力認識UP作戦！・避難場所を共有しよう！



テーマ=避難所運営の手順と方法



◆地域防災学習交流会
一時避難場所は、
(頂上グラウンド)
だ！
共通認識が図れた・・・
避難場所は第四小学校

非会員にも参加を呼び掛けます！

消火栓から初の放水！
防災放水訓練の実施
◆消火栓用器具格納箱の
ホースを使った訓練
市の防災課・青梅消防署
の指導のもと実施。
◆団地内12組に設置
体験希望要請から
H25.9.8/H26.3.9に
一時避難場所で実施



消火栓器具箱新設=初放水訓練



防止策2) 子供達の安全の為に、地域の安全を守る会の頑張りに期待！



見守り隊は、3ヶ所にて実施！

◆名称『児童・生徒通学路見守り隊』26名と保護者による月曜日から金曜日の毎朝、第四小学校・吹中の生徒・児童の通学路見守りを実施。当団地は坂道の為、中学生は自転車通学時、乗らずに押して降りるのがルールです！



ここから自転車に乗り、左側走行！

防止策3) 回覧用・自治会だよりの効果は！

広報委員3名、役員からの写真提供を受け、毎月25日発行を目標行事を追いかけ、行事に追われる日々だ。

- ◆反響 = 防災情報・・・大雪災害カーポート倒壊が判明(32軒) 土砂災害警戒情報・避難準備情報発令・・・土砂災害発生した！
- ◆役員提案 = 資源回収実績および報償金掲載と今後の予定！
- ◆貢献度 = 記録に残り、総会議案書の作成に重宝です！
- ◆空家・新築入居時、自治会入会活動の紹介資料に添付・・・



安心支え合いネットワーク事業

第九支会長 櫻井義久

世帯数 1,753世帯

「救急医療情報キット」と 防災連絡カード」を配布

自治会会員の要望などをふまえて、救急医療活動の一助と災害時の家族の連携、さらに、会員相互の連携（絆）の形成をめざして、平成25年度に「第九支会・安心支え合いネットワーク事業」を実施しました。

この事業の一環として、高齢者世帯調査の実施とともに、「救急医療情報キット」および「防災連絡カード」を自治会役員が全会員世帯に配布しました。

この活動を通して、自治会会員の支え合い意識と連帯感の向上、自治会加入促進の取り組みにつなげます。「東京都地域の底力再生事業助成」対象事業。

家族の連携と 会員相互の連携（絆）

第九支会では、高齢者等を対象とした青梅市災害時要援護者支援事業を市と連携して実施しています。

新町地区では、現在、164人の方が災害時要援護者の登録をしており、平成24年度は、自治会役員と民生・児童委員が協力して、登録者の世帯を訪問し、状況把握を行いました。その訪問の際に、青梅市の救急医療情報キットを配布し、大変好評でした。この活動を通して、多くの自治会会員から、救急医療情報キットの配布の要望が出されました。

第九支会の区域内には、高齢者が多く居住していますが、自立して生活している方や家族での援助が可能な方などは、災害時要援護者に登録していない状況です。また、急病の発症と救急対応については、高齢者だけでなく、誰もが不安を持っています。

こうした自治会会員の要望をふまえて、救急医療活動の一助と災害時の家族の連携、さらに、会員相互の連携（絆）の形成をめざして、安心支え合いネットワーク事業を実施しました。



新町一丁目だより

自治会長 山岡正和

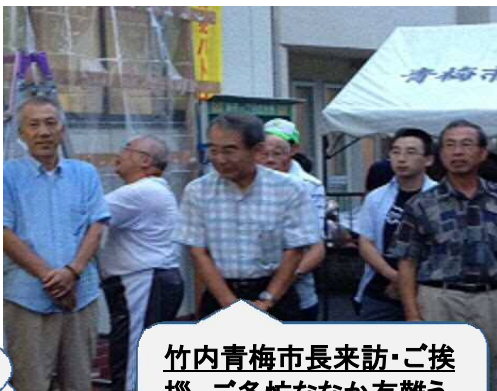
世帯数 302世帯

納涼バーベ

平成26年8月16日（土）、恒例の「納涼バーベキューの集い」を開催
 当日は雨の心配をしましたが、幸いなことに開会時には止み、屋内と屋外テントとそれぞれくつろぐ姿が見られました。竹内青梅市長にはご多忙なか来訪・ご挨拶を頂きました。松永文男氏の演奏も屋外ステージで行われ、松本義一氏提供巨人軍グッズの特別企画は盛り上がりました。
 調理、盛付、花、接待そして片付け等ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



雨対策用に藤棚にシート掛け。役立ちました。



竹内青梅市長来訪・ご挨拶。ご多忙なか有難うございました。



井上信治衆議院議員秘書からご挨拶頂きました。



会館出入口の様子と花掛け



熱演の松永文男様。有難うございました。



第九支会役員他多数の来賓に来て頂き、交流を深めました。来訪感謝申し上げます。

熱くて大変だったのは焼き方の体育部と盛付役の婦人部の皆さんでした。



談笑される嶋田和夫様、嶋田一郎様、



山下英夫様ご挨拶頂きました。有難うございます。



自主防災委員会の活動

自治会長 高木 博康

世帯数 62世帯



防災委員会（支部）の発足

平成23年の東日本大震災を機に、末広町二丁目自治会では、組織的に行動し町内住民を守ることを目的に、現行の防災対策を町内実情に沿った内容に見直していきたいと考えました。

自治会の防災対策は自治会会員だけに向けられては地域を守ることになりません。全住民を対象に対策を実施して、初めてその力が発揮されと考えます。

これらのことから、自治会内に末広町二丁目自主防災委員会を発足し活動を開始いたしました。（平成23年 9月 3日 発足）

末広町二丁目自治会の構成

平成26年度	自治会世帯数	62世帯
	非自治会世帯数	約320世帯
	合計世帯数	約382世帯

活動内容

- ① 毎月一回、防犯パトロール後に自主防災委員会を実施。
防犯、防災に対する情報の共有を計るため毎月必ず実施します。
- ② 末広町二丁目・自主防災委員会だよりの発行、配布。
不定期だが、自治会の情報を皆さんに対し全戸配布します。
- ③ 年一回、住民票カードの作成。
住民票カード作成の協力を呼び掛け情報が古くならないように毎年更新します。（平成25年11月現在 147世帯387名を把握）
- ④ 近隣企業、地主さんなどとコミュニケーションを取り協力を呼び掛ける。
東芝、そうしん、畑の地主さんなどに協力をお願いし有事の際の対応を考えておく。

今後の課題

- ① 行政、支会との連携をはかり、より実情に沿った活動をする。
- ② 防災活動を風化させることなく、全住民の皆さんに情報を出し、協力いただける方を増やしていく。

自治会を縮小させないためには、自治会が何をしているのかを理解していただき協力する方を増やすことであります。これらの課題への取り組みは、自治会会員に一層の負担となるが、自らの町内を自ら守るために実施しなければならないと考えます。

新町 7・8・9 丁目自治会のサークル活動と地域の連携

新町 7・8・9 丁目自治会

新町 7・8・9 丁目自治会では住み良い街づくりと地域のネットワーク作りとして様々な活動を行っております。

自治会の正式組織としては他の自治会とほぼ同じく四役（会長、会計、書記・広報等）と専門部（体育部、女性部、子供会等）があり、青梅市自治会連合会、あるいは第九支会の方針に沿った活動と当自治会独自の活動（新町 7・8・9 丁目自治会盆踊り大会等）を組織的に進めています。

これとは別に自治会員有志が自主的に進めているサークル（同好会）活動が数多くあります。大きく分けると運動系、健康系、文科系といったところでしょうか。

運動系の代表はソフトボール部で毎年の第九支会内の大会では大活躍です。そして第八ゴルフ会は開催回数が 100 回を超えています。

健康系は太極拳、自彊術、セラバンド、グラウンドゴルフ、ラジオ体操等があります。

そして文科系は和服リフォーム、そば打ち等がありますが、今年度中に囲碁、将棋等のサークルも立ち上げることを考えています。

これらのサークルは 1 人が複数のサークル活動を楽しむ事により、住みよい楽しい街づくりのコミュニティとして自然に人と人との和・地域の輪の醸成につながっております。そしてこのサークル活動を更に盛んにすることにより自治会員加入者を増やし、また退会者を減らすことにつながれば更に地域の輪が広がり災害発生時等にも大きな力になると考えています。

自治会組織の正式組織とは別に自治会活動を側面から支援してくれるインフォーマルグループとして「新町八の会」の存在があります。このグループに関しては機会があれば改めて紹介したいと思いますが、簡単に言うと役員 OB 有志の集まりで既に 13 年間も活動を行ってきており、前述のいろんなサークルの立ち上げにも関わってきております。

3 年前に新田山公園の調整池跡地に多目的広場が作られました。このときにも新町八の会が中心になって有効利用を考え前述のグラウンドゴルフとラジオ体操の会を立ち上げました。この 2 つのサークル活動について少し紹介いたします。

グラウンドゴルフは原則毎月 2 回（第 2、4 土曜日）の練習会、そして年 2 回の競技会を行っており、現在の登録者数は 80 人程度で毎回の参加者は 30 人程度で主として年齢 60 歳以上の男女が身体を動かしながら和気あいあいとコミュニケーションをはかりつつプレーを楽しんでいます。

ラジオ体操は毎朝 6:30 から雨の日を除き毎日実施しています。ここには子供から高齢者まで多数の人が参加して健康作りに励んでいます。特にこの夏休み期間は子供も多く参加し 6,70 人も集まる時もありました。そして子供たちには夏休み終了日に「頑張ったで賞」を渡すイベントも行いました。体操の後は公園の周りをウォーキングやジョギングをする人たちもおり更なる健康作りに励んでいます。

繰り返しになりますが、昨今は高齢化社会の進行など他人事では済まされない状況に隣近所の助け合いが非常に大事になってきております。地域に根ざした活動としてまずは仲間作り、そして楽しい生活の一つとしてこの様なサークル活動仲間やコミュニティがいざと云う時に有効に生かされると確信しています。まさにこれが住み良い街づくりと地域のネットワーク作りの一歩だと考えます。



新田山公園多目的広場でのグラウンドゴルフ練習



新田山公園多目的広場でのラジオ体操

《地域の安心・安全を求めて》

地域の結びつきで築く私たちの街づくり

第10支会 支会長 吉田和俊 2,698世帯



第10支会とは

第10支会は、河辺町1丁目から10丁目の各町および地区内のマンション自治会を合わせて13の単位自治会で組織し、安心安全なまちづくりを目指し、日頃から様々な社会活動を行っています。

また、各単位自治会でも盆踊り・各種レクリエーションをはじめ独自の地域交流活動を行っています。

今回は、第10支会で行っている活動のうち、いくつかをご紹介します。

安心・安全パトロール

河辺地区では、ゲームセンターをはじめとする娯楽施設など集客施設が多く集まり犯罪への誘惑も多い地域です。

このため、各自治会・学校・PTA・子供会育成会・民生児童委員や保護司など、地域で活動するあらゆる人達と連携して「河辺地域の安全を守る会」を組織し、合同してパトロールを行うほか、各団体ごと独自に行う定期、不定期のパトロールを通じて地域の安心・安全の確保を図っています。

このほか、地域の各団体・機関と連携して「青少年健全育成連絡協議会」を結成し、青梅警察署とも連携して犯罪から青少年を守る活動を行っています。

健康&レクリエーション

春の花が一斉にほころび始める頃、老若男女うち揃って「歩こう会」を行っています。今年は春の霞丘陵を散策しました。

毎年、各自治会体育委員が10kmを目標にコースを選定し、季節を感じながら散策し、完歩した後は豚汁に舌鼓を打って地域の交流・親睦を図っています。

夏の宵にはファミリーゴルフ大会、秋にはビーチボール大会も行います。



皆さんもぜひ、参加しませんか。

《安心・安全は隣近所の結びつきから》 地域を見直してみませんか。

隣近所のお付き合いは確かに難しいことも多くあります。しかし、東日本大震災や異常気象による過去の多くの災害を見ても、また、高い確率で間近に迫りくる首都直下型地震や立川活断層の活動被害を想定しても、いざという時に頼りになるのはあなたの街の隣近所の結びつきです。

市民ウォーキングの開催

第11支会 支会長 貫井 修一郎

市民ウォーキングで地域を知る

第11支会では、今井市民センターと共催で、毎年1月下旬の日曜日に「市民ウォーキング」を開催しています。

この市民ウォーキングは、地域住民の体力増進と健康の保持、地域の連帯と異年齢層の交流、さらに地域の歴史や自然に触れることを目的に行っています。

毎年、市民センターへ午前8時30分頃に集合し、コースの説明と準備体操ののち、5～7kmのコースを2時間30分ほどウォーキングし、ゴール後に甘酒とコーンスープで疲れを癒します。



霞川を歩く

世代を超えて交流が図れた

「市民ウォーキング」は、毎年テーマを決め、小学校低学年から年配者までが参加できるコースを検討し実施しています。



甘酒、コーンスープで疲れを癒す

このため、地区住民を中心に多くの老若男女に参加をいただき、個々の運動と参加者間の交流が図られるなど好評をいただいています。

また、参加者が自分達の住んでいるまちや自然に触れ合うことにより、地域を知り新たな発見をするなど、貴重な体験の機会にもなっています。

実施状況

《平成25年度》

開催日 平成26年1月26日(日)
コース 冬の霞丘陵を歩く
参加者 115人

《平成24年度》

開催日 平成25年1月27日(日)
コース 霞川沿いの自然観察と散策
参加者 116人

《平成23年度》

開催日 平成24年1月22日(日)
コース 地域の名所旧跡を訪ねる
参加者 85人

今井城の腰自治会餅つき大会

第11支会 今井城の腰自治会
自治会長 藤本正己

今井城の腰自治会では、会員相互の懇親、災害時の炊き出し訓練等を目的として、毎年正月明けの休日に、自治会が主催し、スポーツ浮島会、婦人部、小学校PTA等各団体の協力を得て餅つき大会を実施しています。毎年大いに盛り上がり、今年で37回目を迎えました。

<平成26年餅つき大会>

日時 1月12日(日) 午前9時～

会場 今井城の腰自治会館

会場では、男性陣は餅つき、豚汁作り、女性陣は、つきあげた餅を、餡、きな粉等のからみ餅作り、各戸配布用(5個ずつ全会員に配布)の大福作りに作業分担し、会員・来賓の来場を待ちます。

9時30分頃から徐々に会員家族、来賓の方々が集まり、絡み餅、豚汁、各種飲料を振舞い、子供達には、ポップコーン綿菓子、パンダ焼きを振舞い、賑やかで和やかな中で会が進行しました。

参加者は、自治会員のみならず、他所で所帯を持つ人が子供連れで参加する姿も散見し約100名を上回り、全て自治会の自力で行うこの行事は今後も継続させて行きたいと考えています。



<課題>

当自治会は、会員87世帯(加入率約70%)と小さな自治会です。餅つきを開始した当時は、30～40代の世帯が大半でしたが、世代交代が無い為、現在は高齢世帯の比率が極めて高くなってきています。

このため、この行事は、当初の目的の他に昨年度から高齢化対策も加え実施しています。具体的には、大勢の人達が集まるこの会場で、現在自治会内で活発に活動している趣味サークル(歩こう会・コーラス・ヨガ等)の活動内容をパネルで紹介し、一人でも多くの人達に参加を呼びかけ、より一層の親睦を図ると同時に、高齢者の引きもり防止を図るという狙いです。



発行・お問い合わせ先：青梅市市民部市民活動推進課

〒198-0102 青梅市東青梅 1-11-1

TEL 0428-22-1111

FAX 0428-21-0542

URL <http://www.city.ome.tokyo.jp>

メールアドレス：div1003@city.ome.tokyo.jp

発行日 平成27年3月10日